

平成24年度 神奈川区 区民意識調査 報告書

概要版

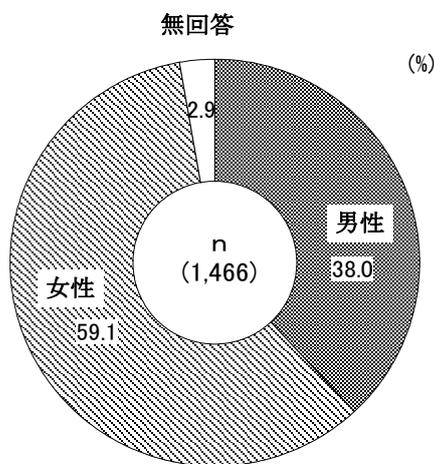
調査の概要

調査の設計	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査対象 区内に居住する20歳以上の男女 ◆対象者数 3,000人（うち外国人50人） ◆標本抽出 住民基本台帳及び外国人登録原票からの無作為抽出 ◆調査方法 郵送調査法 ◆調査期間 平成24年6月14日（木）～6月29日（金） ◆有効回収数 1,466人 ◆有効回収率 48.4% 										
調査項目	<table border="0"> <tr> <td>1 防災について</td> <td>6 商店街・「わがまち かながわ とっておき」について</td> </tr> <tr> <td>2 「ヨコハマ3³ R^{リム}プラン」について</td> <td>7 猫の飼育管理などについて</td> </tr> <tr> <td>3 地域のコミュニティについて</td> <td>8 定住意向について</td> </tr> <tr> <td>4 青少年（中学生・高校生世代）について</td> <td>9 あなたご自身について</td> </tr> <tr> <td>5 広報・ホームページについて</td> <td></td> </tr> </table>	1 防災について	6 商店街・「わがまち かながわ とっておき」について	2 「ヨコハマ3 ³ R ^{リム} プラン」について	7 猫の飼育管理などについて	3 地域のコミュニティについて	8 定住意向について	4 青少年（中学生・高校生世代）について	9 あなたご自身について	5 広報・ホームページについて	
1 防災について	6 商店街・「わがまち かながわ とっておき」について										
2 「ヨコハマ3 ³ R ^{リム} プラン」について	7 猫の飼育管理などについて										
3 地域のコミュニティについて	8 定住意向について										
4 青少年（中学生・高校生世代）について	9 あなたご自身について										
5 広報・ホームページについて											

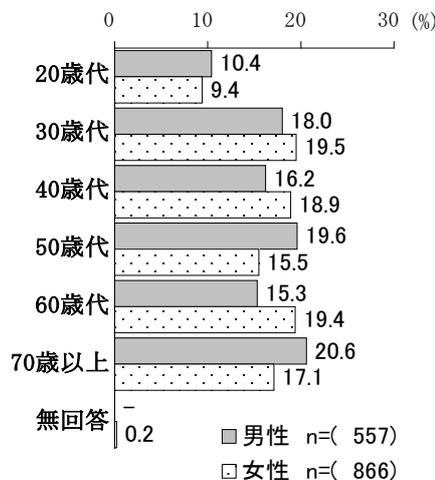
※図表中の「n」は回答者数で、グラフの数値はすべて回答者数を基数とした比率（％）です。小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。複数回答できる質問では、合計が100%を超えます。

基本属性

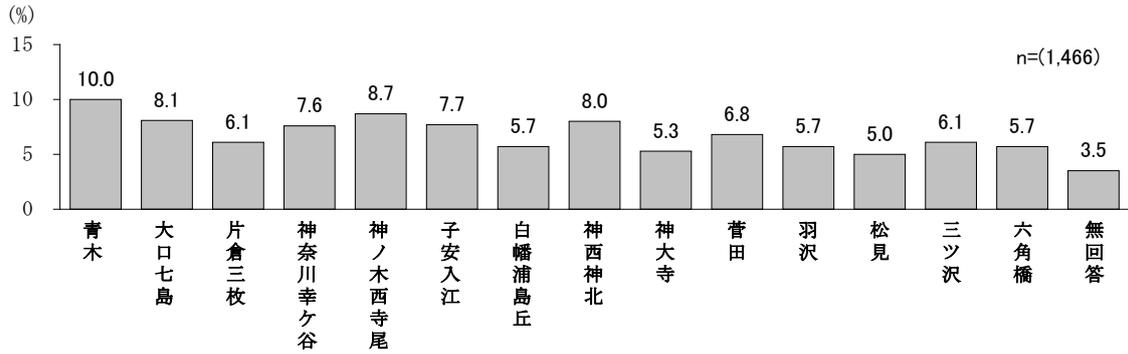
○性別



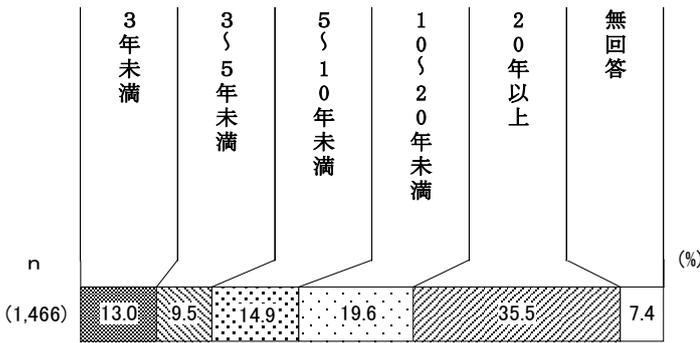
○性／年齢



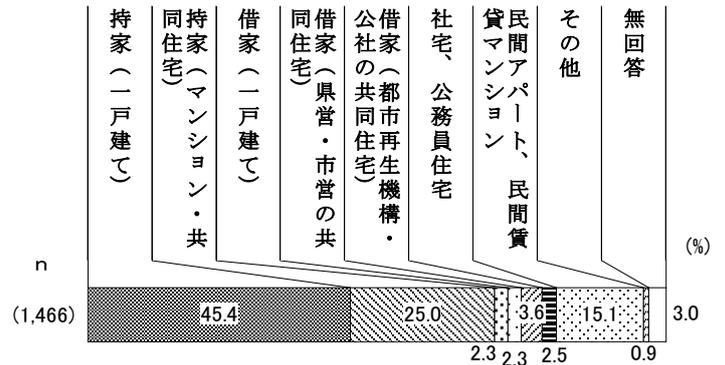
○居住地



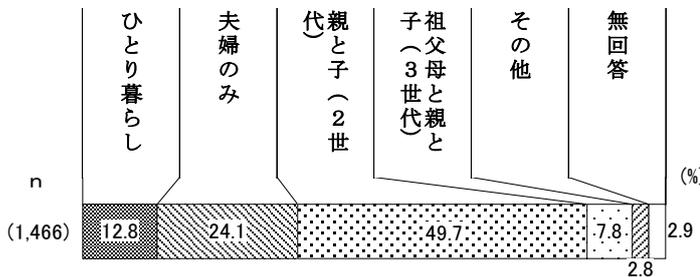
○居住年数



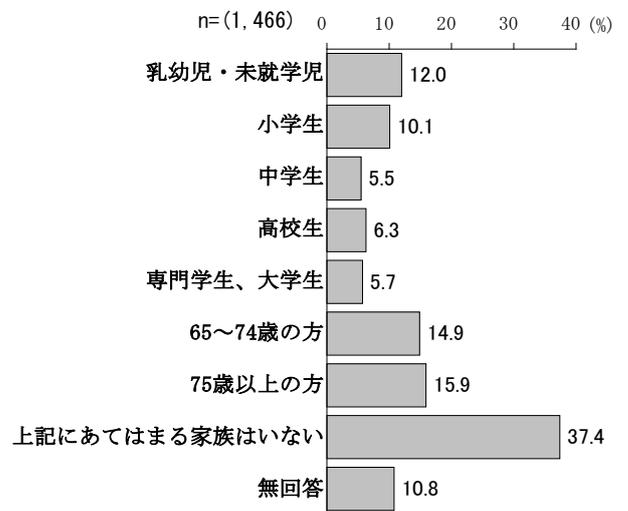
○居住形態



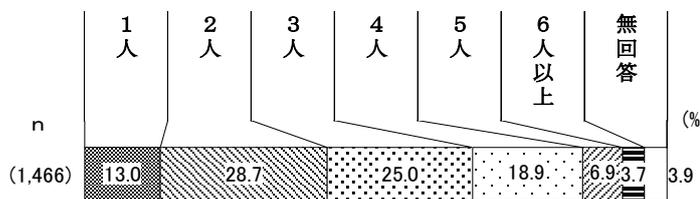
○家族構成



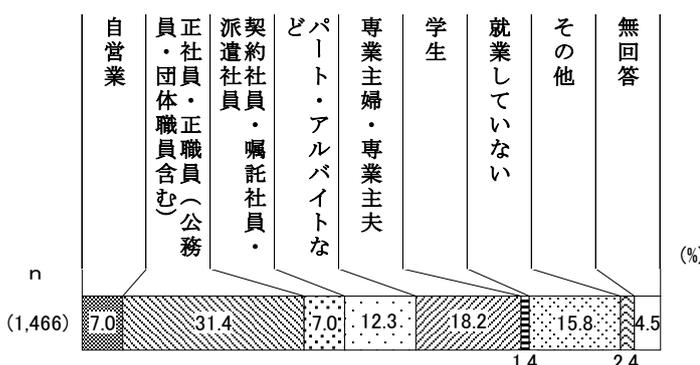
○同居家族の段階



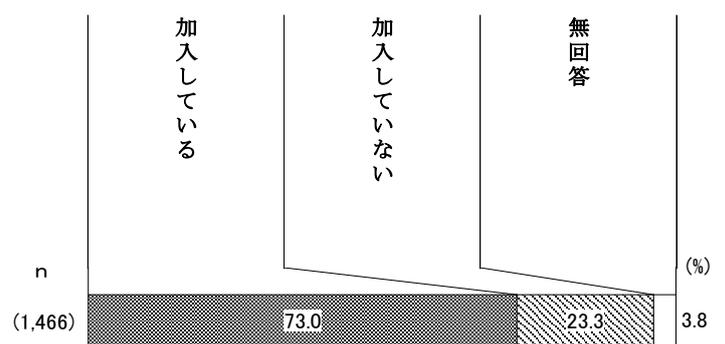
○同居家族の人数



○就労状況



○自治会町内会への加入状況



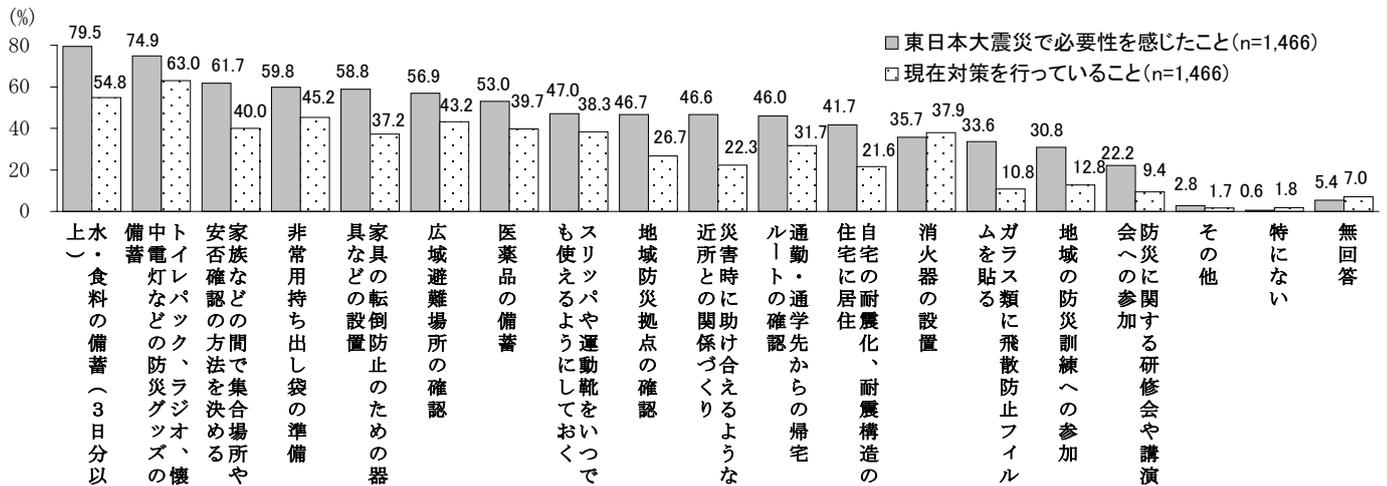
防災について

(1) 家庭の地震災害に対する備えについて

問1 あなたのご家庭の地震災害に対する備えについておたずねします。(ア)と(イ)について該当する欄の番号に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも)
 (ア) 昨年の東日本大震災で必要性を感じたこと
 (既に備えていた対策と行っていないことの両方を合わせてお答えください。)
 (イ) 現在対策を行っていること

昨年の東日本大震災で必要性を感じたことは、「水・食料の備蓄（3日分以上）」が約8割と最も高く、「トイレパック、ラジオ、懐中電灯などの防災グッズの備蓄」、「家族などの間で集合場所や安否確認の方法を決める」、「非常用持ち出し袋の準備」、「家具の転倒防止のための器具などの設置」、「広域避難場所の確認」、「医薬品の備蓄」と続いています。

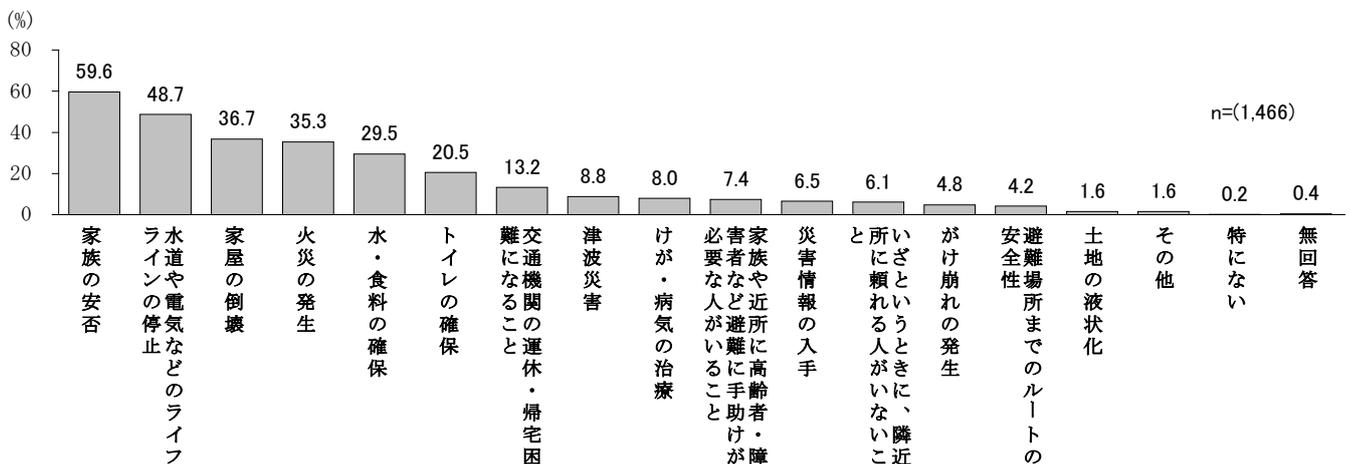
現在対策を行っていることは、「トイレパック、ラジオ、懐中電灯などの防災グッズの備蓄」が6割を超えて最も高く、「水・食料の備蓄（3日分以上）」、「非常用持ち出し袋の準備」、「広域避難場所の確認」、「家族などの間で集合場所や安否確認の方法を決める」と続いています。



(2) 地震災害発生時に特に心配なこと

問2 地震災害が起きたときにあなたが特に心配なことは何ですか。(○は3つまで)

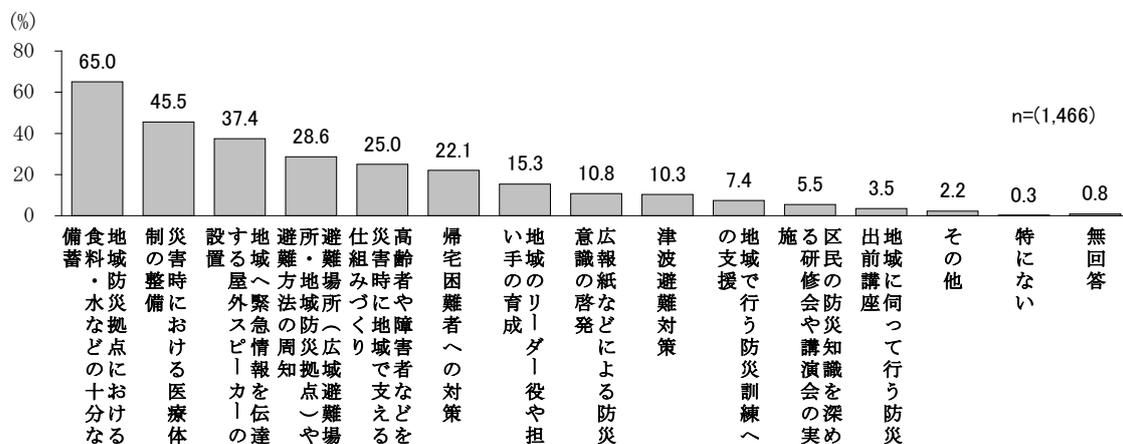
地震災害が起きたときに特に心配なことは、「家族の安否」が約6割で最も高く、「水道や電気などのライフラインの停止」、「家屋の倒壊」、「火災の発生」と続いています。



(3) 区役所の防災対策として力を入れて実施すべきこと

問3 区役所が取り組む防災対策で、特に力を入れて実施すべきと考えられるのは何ですか。(〇は3つまで)

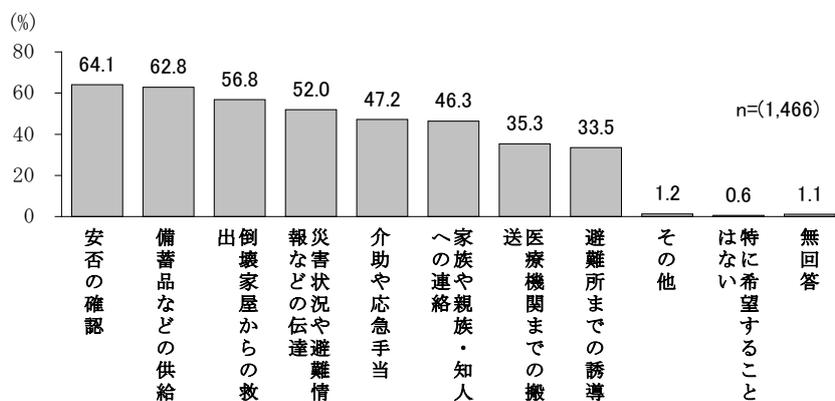
区役所が取り組む防災対策で、特に力を入れて実施すべきと考えられるのは、「地域防災拠点における食料・水などの十分な備蓄」が6割台半ばで最も高く、「災害時における医療体制の整備」、「地域へ緊急情報を伝達する屋外スピーカーの設置」と続いています。



(4) 災害発生時に希望する手助け

問4 災害が発生した際、あなた自身やあなたの家族が必要とする地域の(近所の人などの)手助けは何ですか。(〇はいくつでも)

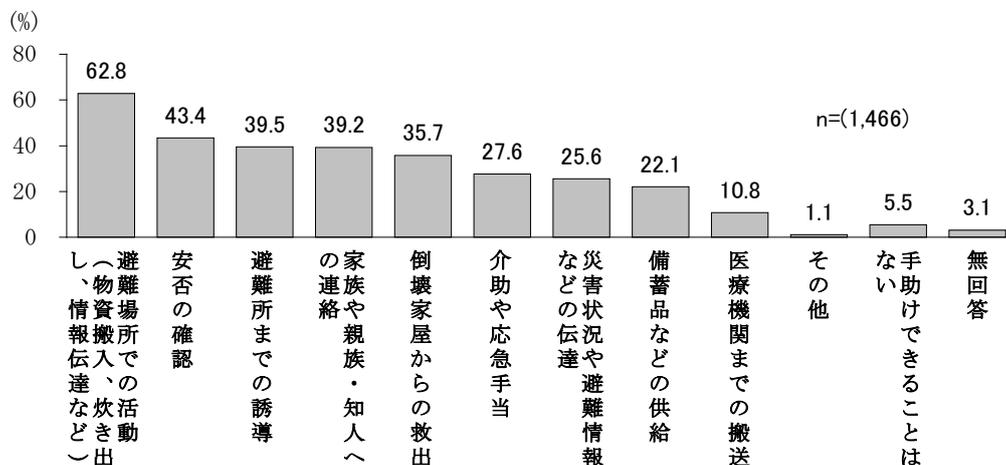
災害発生時に希望する地域の手助けは、「安否の確認」が6割台半ばで最も高く、「備蓄品などの供給」、「倒壊家屋からの救出」、「災害状況や避難情報などの伝達」と続いています。



(5) 災害発生時にできる手助け

問5 災害が発生した際、あなたが地域でできる手助けは何ですか。(〇はいくつでも)

災害発生時にできる手助けは、「避難場所での活動（物資搬入、炊き出し、情報伝達など）」が6割を超えて特に高く、次いで「安否の確認」、「避難所までの誘導」、「家族や親族・知人への連絡」、「倒壊家屋からの救出」となっています。



スリム

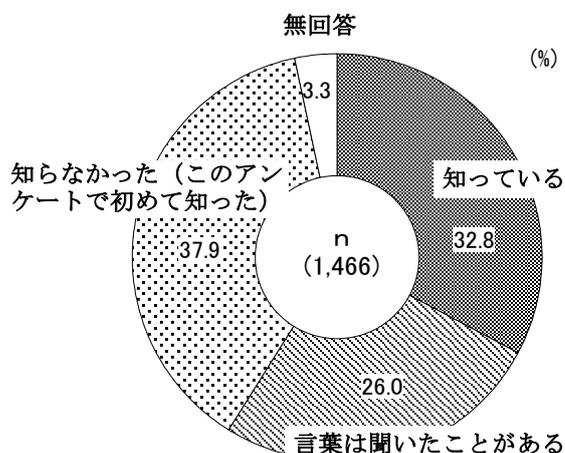
「ヨコハマ3R夢プラン」について

スリム

(1) 「ヨコハマ3R夢プラン」の認知度

問6 あなたは、横浜市が実施している、ごみを発生させないための取組「ヨコハマ3R夢プラン」を知っていますか。(〇は1つ)

「ヨコハマ3R夢プラン」については、「知っている」は32.8%、「言葉は聞いたことがある」は26.0%となっています。一方、「知らなかった（このアンケートで初めて知った）」は37.9%となっています。

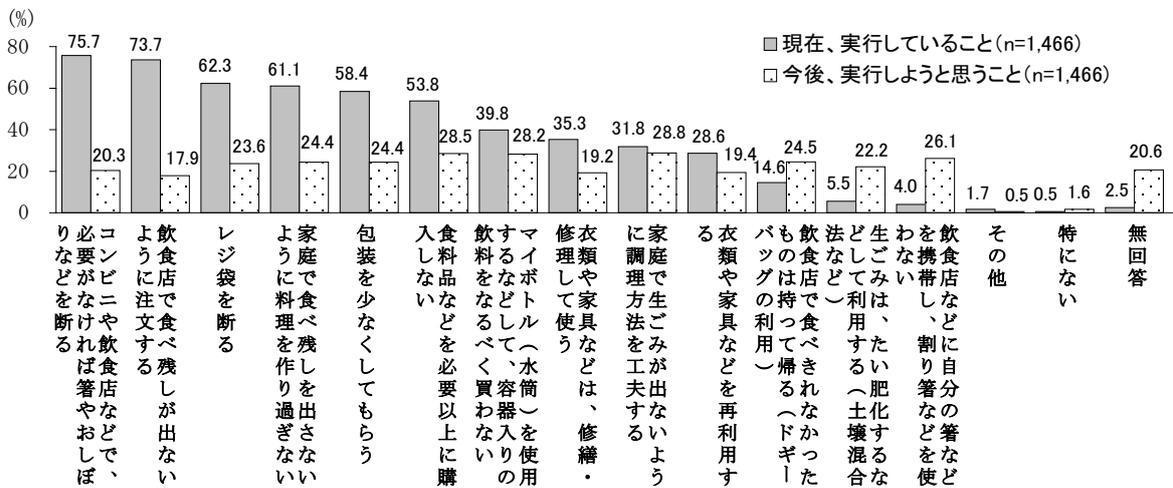


(2) 「ヨコハマ3R夢プラン」の取組について

問7 「ヨコハマ^{スリム}3R夢プラン」では、3R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）の頭文字）を推進しています。その中の取組（不要なものは断わる、必要な分だけ購入する、ごみになるものを増やさないなど）についておたずねします。（ア）と（イ）について該当する欄の番号に○をつけてください。（○はそれぞれいくつでも）
 (ア) 現在、実行していることは何ですか。
 (イ) 今後、実行しようと思うことは何ですか。

現在、実行していることは、「コンビニや飲食店などで、必要がなければ箸やおしぼりなどを断る」と「飲食店で食べ残しが出ないように注文する」が7割を超えて高く、「レジ袋を断る」、「家庭で食べ残しを出さないように料理を作り過ぎない」と続いています。

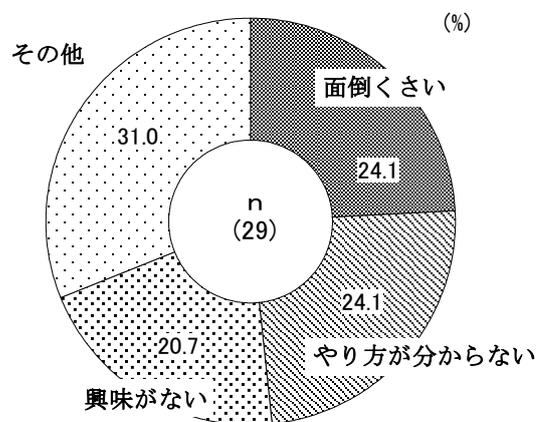
今後、実行しようと思うことは、「家庭で生ごみが出ないように調理方法を工夫する」、「食料品などを必要以上に購入しない」、「マイボトル（水筒）を使用するなどして、容器入りの飲料をなるべく買わない」が高くなっています。



(3) 取組をしていない理由

問8 問7で（ア）または（イ）に「15 特にない」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。（○は1つ）

3R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）の頭文字）の取り組みをしていない理由は、「面倒くさい」、「やり方が分からない」がともに24.1%、「興味がない」20.7%となっています。



地域のコミュニティについて

(1) 地域の活動について

問9 地域の活動についておたずねします。(ア)～(ウ)について該当する欄の番号に○をつけてください。

(ア) 参加している(したことがある)活動は何ですか。(○はいくつでも)

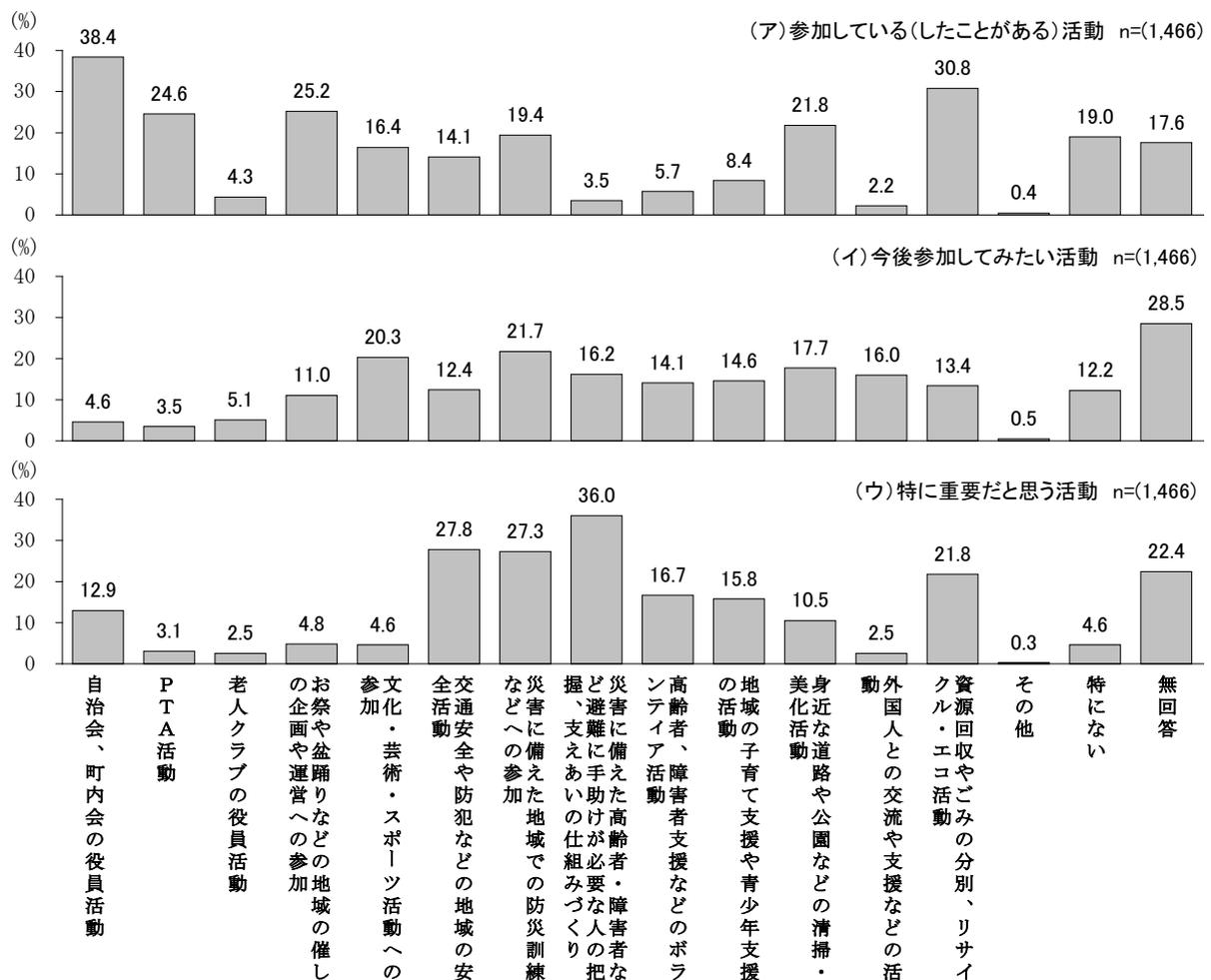
(イ) 今後参加してみたい活動は何ですか。(○はいくつでも)

(ウ) 特に重要だと思う活動は何ですか。(○は3つまで)

参加している(したことがある)活動は、「自治会、町内会の役員活動」が3割台後半で最も高く、「資源回収やごみの分別、リサイクル・エコ活動」、「お祭や盆踊りなどの地域の催しの企画や運営への参加」、「PTA活動」と続いています。

今後参加してみたい活動は、「災害に備えた地域での防災訓練などへの参加」が2割台前半で最も高く、「文化・芸術・スポーツ活動への参加」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動」、「災害に備えた高齢者・障害者など避難に手助けが必要な人の把握、支えあいの仕組みづくり」、「外国人との交流や支援などの活動」と続いています。

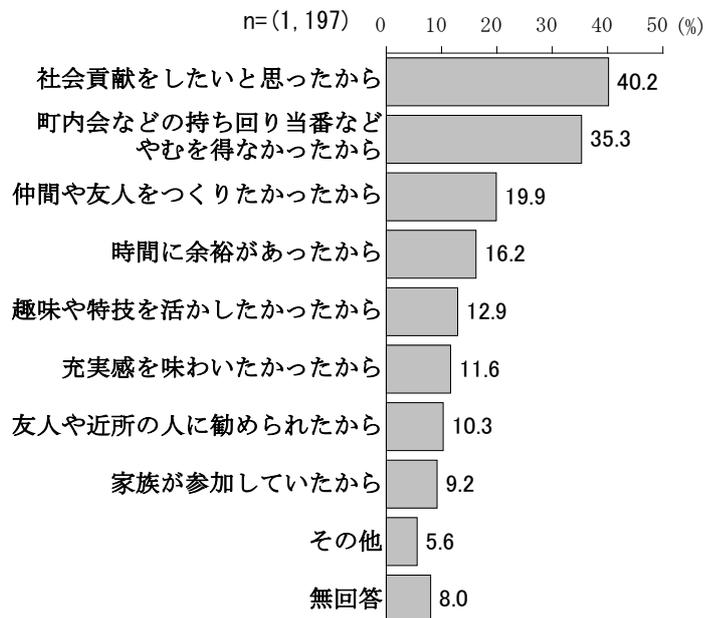
特に重要だと思う活動は、「災害に備えた高齢者・障害者など避難に手助けが必要な人の把握、支えあいの仕組みづくり」が3割台後半で最も高く、「交通安全や防犯などの地域の安全活動」、「災害に備えた地域での防災訓練などへの参加」、「資源回収やごみの分別、リサイクル・エコ活動」となっています。



(2) 地域活動に参加した（したい）主な理由

問10 問9の（ア）または（イ）で参加した活動や今後参加してみたい活動が1つでもあると答えた方におたずねします。あなたが活動に参加した（したい）主な理由はどのようなことですか。（〇は3つまで）

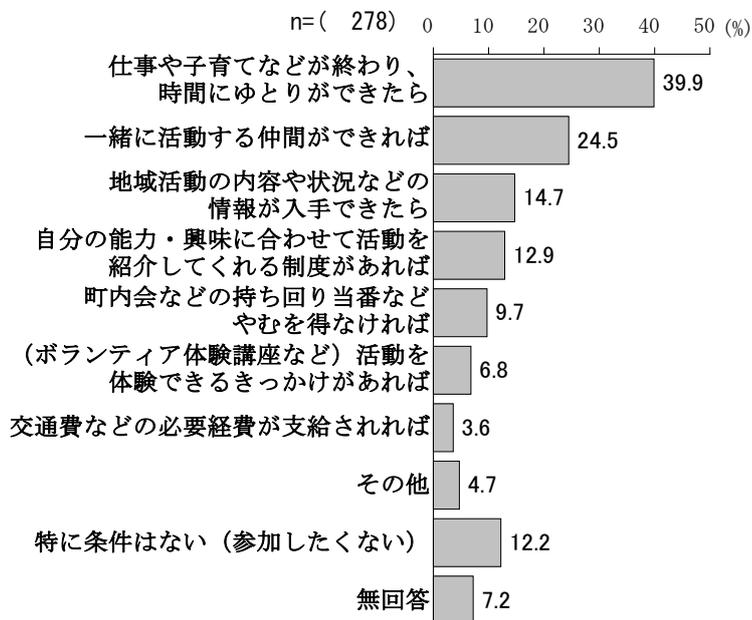
地域活動に参加した（したい）主な理由は、「社会貢献をしたいと思ったから」が約4割で最も高く、次いで、「町内会などの持ち回り当番などやむを得なかったから」、「仲間や友人をつくりたかったから」と続いています。



(3) 地域活動に参加できる条件

問11 問9の（ア）で参加している（したことがある）活動が「特にない」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような場合であれば、地域活動に参加できると思いますか。（〇は2つまで）

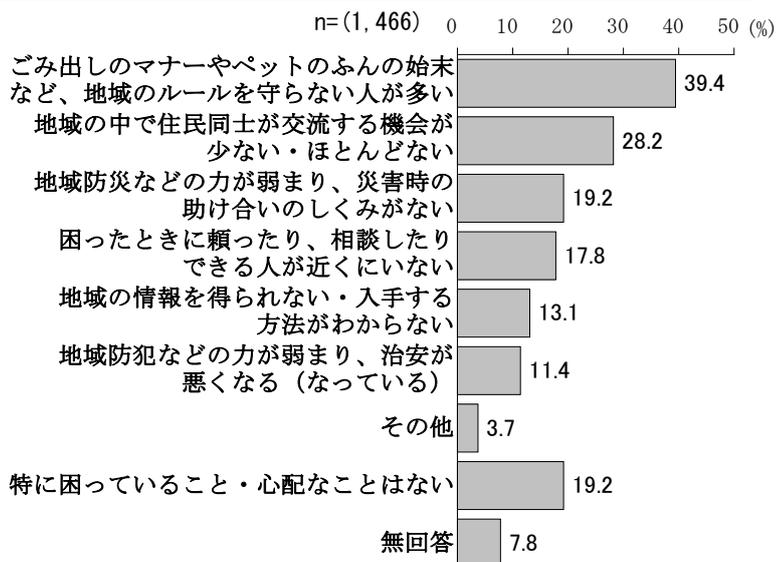
問9の（ア）で参加している（したことがある）活動が「特にない」と答えた方に、地域活動に参加できる条件をたずねたところ、「仕事や子育てなどが終わり、時間にゆとりができたなら」が約4割、次いで、「一緒に活動する仲間ができれば」が2割台半ばとなっています。



(4) 地域コミュニティ（地域社会）に関する困りごと・心配ごと

問12 地域コミュニティ（地域社会）に関することで、あなたが困っていること、心配なことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

地域コミュニティ（地域社会）に関することで、困っていること、心配なことについては、「ごみ出しのマナーやペットのふんの始末など、地域のルールを守らない人が多い」が約4割、次いで、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」が2割後半となっています。一方、「特に困っていること・心配なことはない」は約2割となっています。

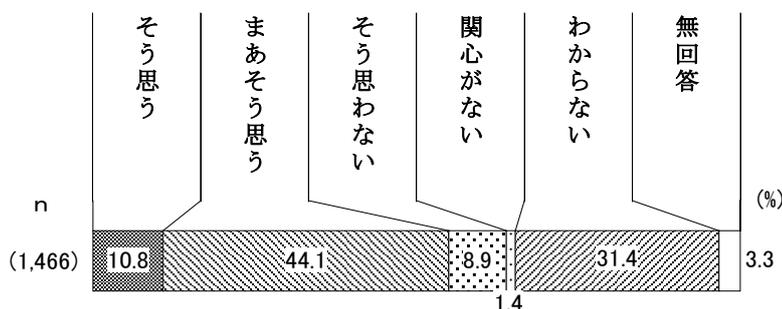


青少年(中学生・高校生世代)について

(1) 神奈川区が青少年に安心・安全で暮らしやすいまちか

問13 あなたは、神奈川区が青少年にとって安心・安全で暮らしやすいまちだと思いますか。（〇は1つ）

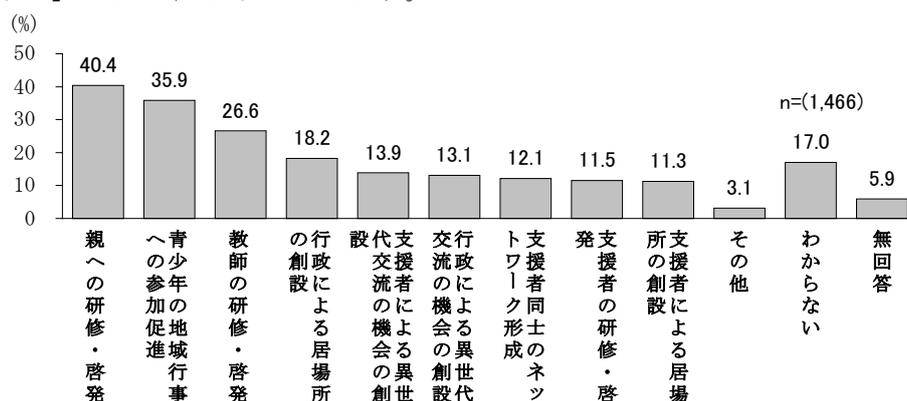
神奈川区が青少年にとって安心・安全で暮らしやすいかについては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた＜そう思う＞は5割前半となっています。一方「そう思わない」は8.9%、「わからない」が3割前半となっています。



(2) 神奈川区の青少年が健やかに育つために「何をすべき」か

問14 あなたは、神奈川区の青少年が健やかに育つためには「何をすべき」だと思いますか。（〇はいくつでも）

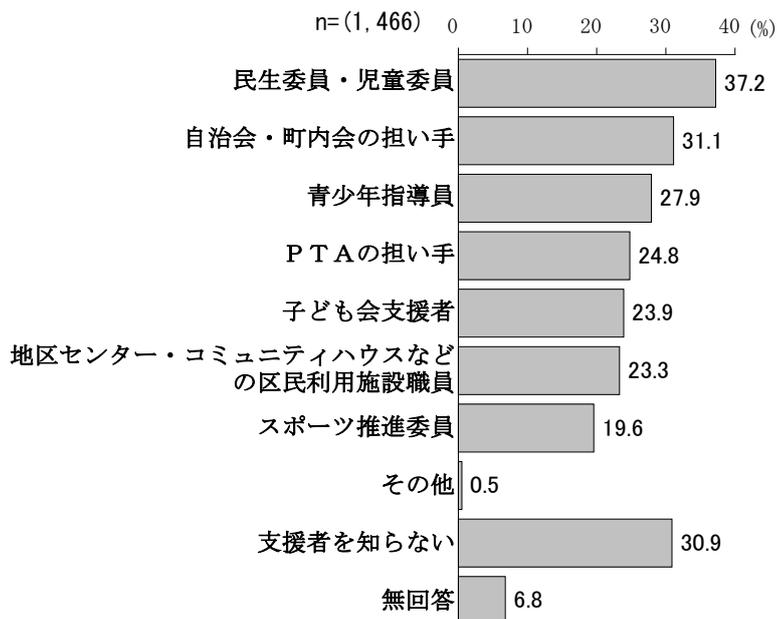
神奈川区の青少年が健やかに育つためには「何をすべき」かについては、「親への研修・啓発」が約4割、次いで、「青少年の地域行事への参加促進」、「教師の研修・啓発」と続いています。一方、「わからない」は17.0%となっています。



(3) 青少年育成支援者の活動内容について知っているもの

問15 青少年の育成に関わる支援者について、あなたが活動内容を知っているものは何ですか。
(〇はいくつでも)

青少年の育成に関わる支援者について、活動内容を知っているものは「民生委員・児童委員」が3割台後半で最も高く、「自治会・町内会の担い手」、「青少年指導員」と続いています。一方、「支援者を知らない」が約3割となっています。

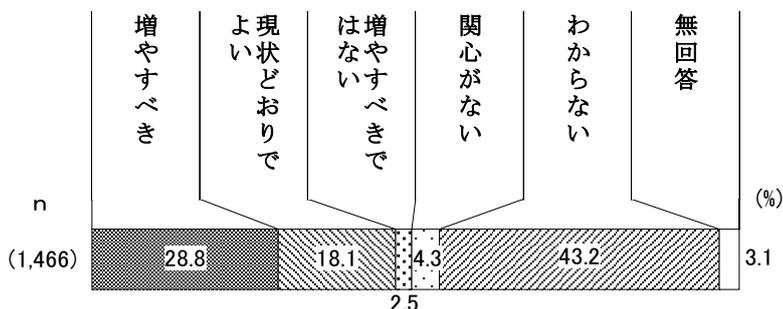


(4) 青少年の放課後の居場所

問16 あなたは、青少年の放課後の居場所についてどのように感じていますか。

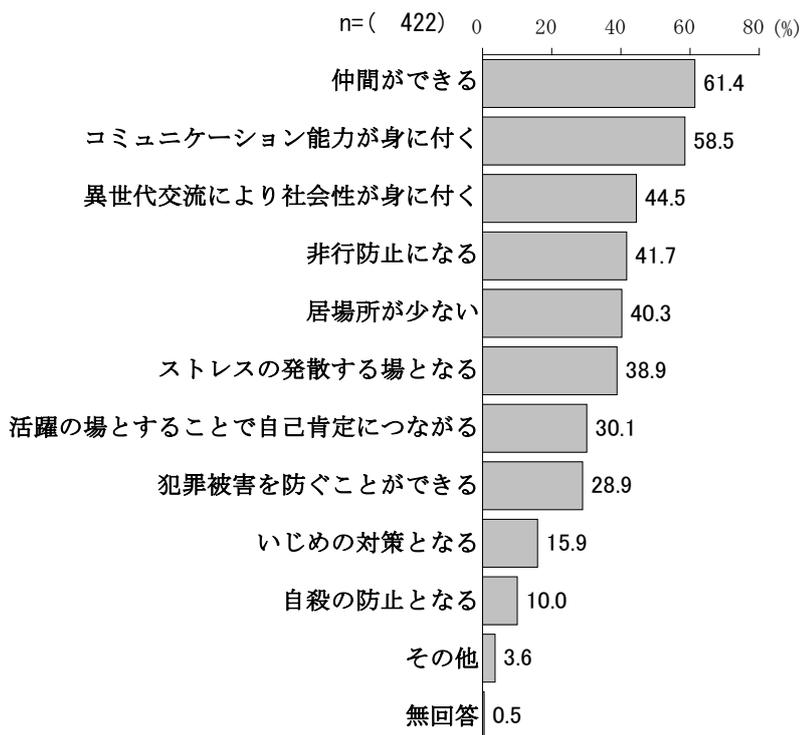
① 放課後の居場所の今後のあり方について。(〇は1つ)

「増やすべき」が2割台後半です。一方、「現状どおりでよい」は18.1%、「増やすべきではない」は2.5%となっています。また、「わからない」が4割前半で最も高くなっています。



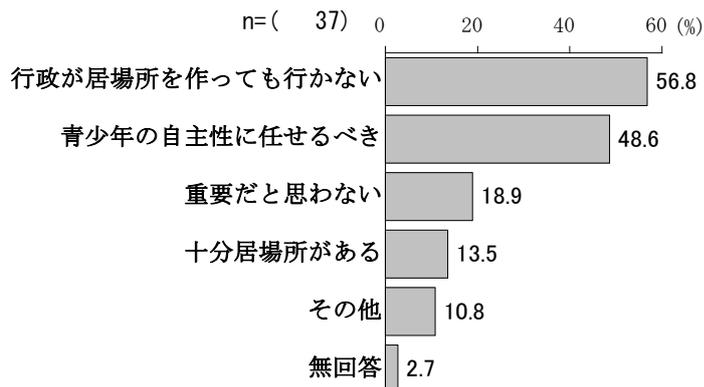
② ①で「1 増やすべき」と答えた方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

「仲間ができる」と「コミュニケーション能力が身に付く」が6割前後で特に高く、「異世代交流により社会性が身に付く」、「非行防止になる」、「居場所が少ない」、「ストレスの発散する場となる」と続いています。



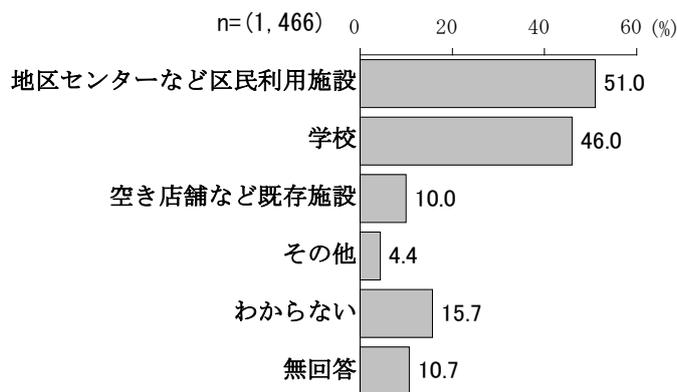
③ ①で「3 増やすべきではない」と答えた方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「行政が居場所を作っても行かない」が5割台後半で最も高く、次いで「青少年の自主性に任せるべき」が4割台後半となっています。



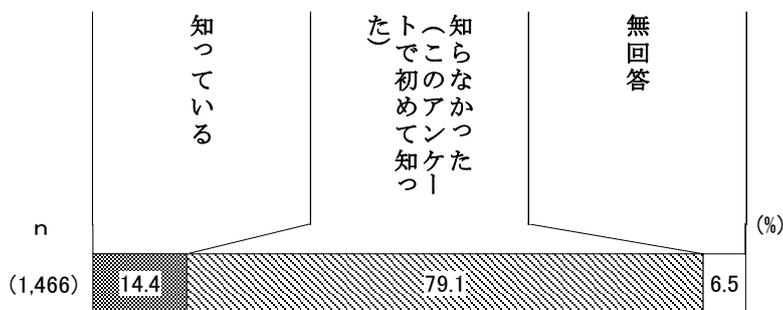
④ 放課後の居場所とするのにふさわしいと考える場所はどこですか。(〇はいくつでも)

「地区センターなど区民利用施設」と「学校」が特に高くなっています。「その他」では、「家、家庭、自宅」「公園」の回答が多くみられました。一方、「わからない」が15.7%となっています。



⑤ 神大寺地区センターの青少年地域活動拠点について。(〇は1つ)

「知っている」は14.4%、「知らなかった (このアンケートで初めて知った)」が約8割となっています。

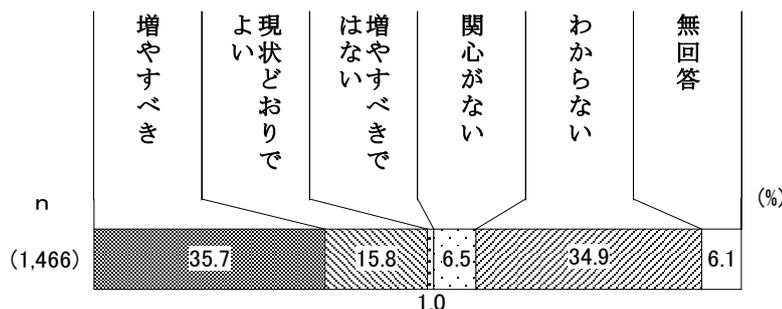


(5) 異世代交流の機会について

問17 あなたは、異世代交流の機会についてどのように感じていますか。

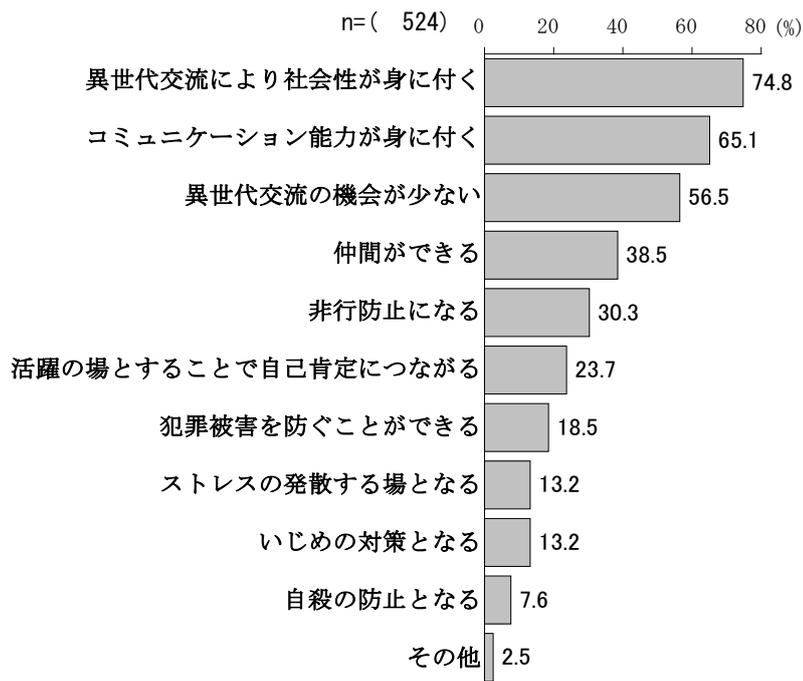
① 異世代交流の機会の今後のあり方について。(〇は1つ)

「増やすべき」は3割台半ばです。一方、「現状どおりでよい」15.8%、「増やすべきではない」1.0%となっています。また、「わからない」が3割台半ばとなっています。



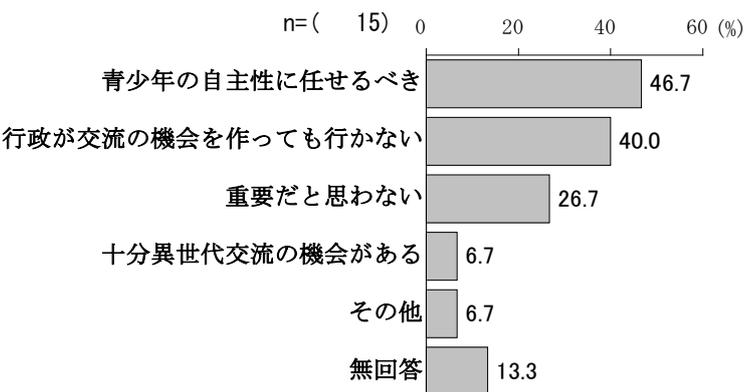
② ①で「1 増やすべき」と答えた方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「異世代交流により社会性が身に付く」が7割台半ばで最も高く、次いで「コミュニケーション能力が身に付く」、「異世代交流の機会が少ない」と続いています。



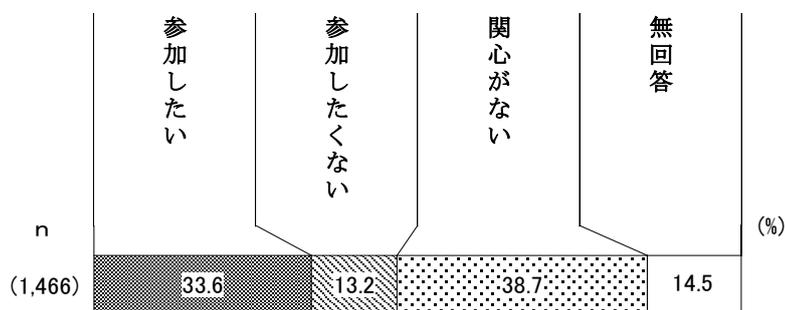
③ ①で「3 増やすべきではない」と答えた方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「青少年の自主性に任せるべき」が4割台後半で最も高く、次いで「行政が交流の機会を作っても行かない」が4割となっています。



④ 異世代交流の機会への参加意向。(〇は1つ)

「参加したい」が3割台前半です。一方、「参加したくない」が13.2%となっています。また、「関心がない」が3割台後半となっています。

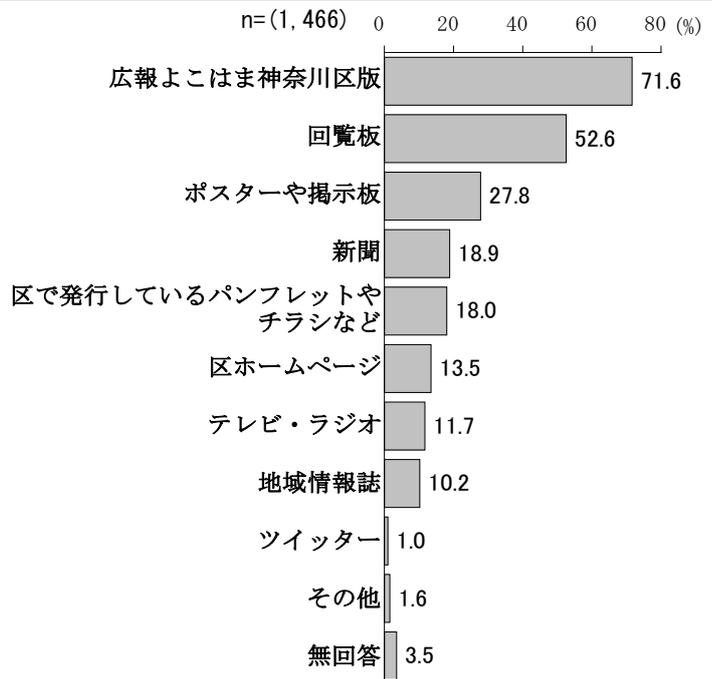


広報・ホームページについて

(1) 区政情報の入手先

問18 あなたは、日頃どのようなものから、各種手続、イベント、施設などの区政の情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

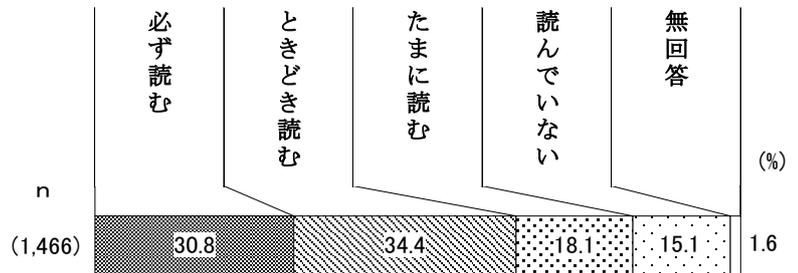
区政情報の入手先は、「広報よこはま神奈川区版」が7割台前半と最も高く、次いで「回覧板」が5割台前半となっています。



(2) 「広報よこはま神奈川区版」を読んでいるか

問19 あなたは、「広報よこはま神奈川区版」を読んでいますか。(〇は1つ)

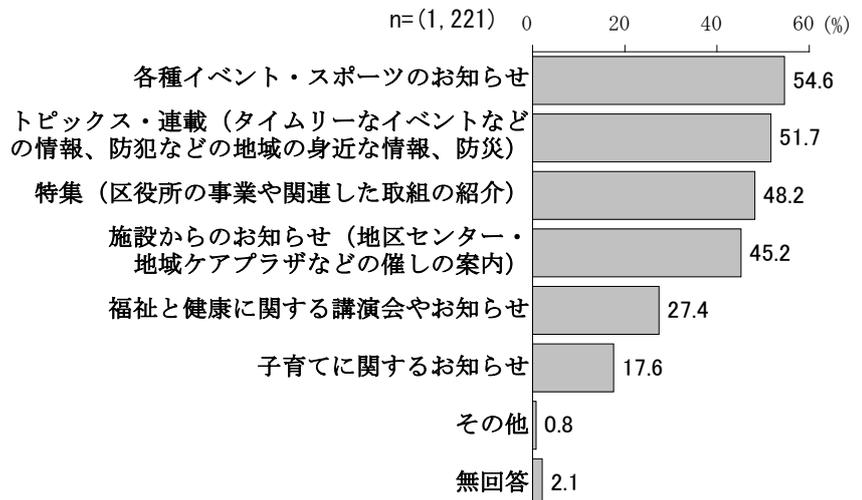
「広報よこはま神奈川区版」を読んでいるかについては、「必ず読む」、「ときどき読む」、「たまに読む」を合わせたく読むは8割台前半と高く、「読んでいない」は15.1%となっています。



(3) 「広報よこはま神奈川区版」で主に読むもの

問20 問19で「1 必ず読む」「2 ときどき読む」「3 たまに読む」と答えた方におたずねします。「広報よこはま神奈川区版」で、あなたが主に読むのはどこですか。(〇はいくつでも)

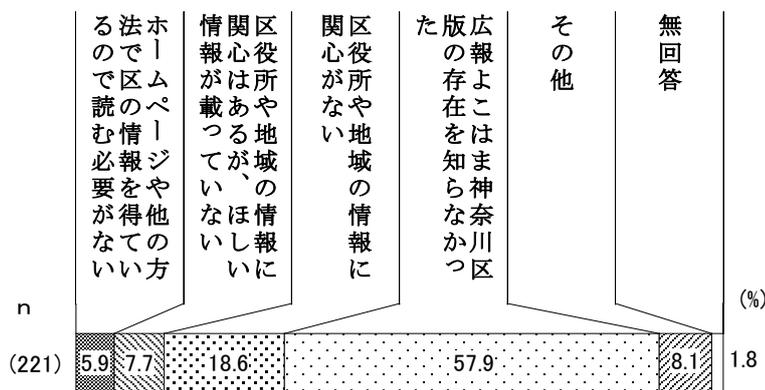
「広報よこはま神奈川区版」で主に読むところは、「各種イベント・スポーツのお知らせ」と「トピックス・連載（タイムリーなイベントなどの情報、防犯などの地域の身近な情報、防災）」が5割を超えて高く、次いで「特集（区役所の事業や関連した取組の紹介）」、「施設からのお知らせ（地区センター・地域ケアプラザなどの催しの案内）」と続いています。



(4) 「広報よこはま神奈川区版」を「読んでいない」理由

問21 問19で「4 読んでいない」と答えた方におたずねします。読んでいない理由は何ですか。(〇は1つ)

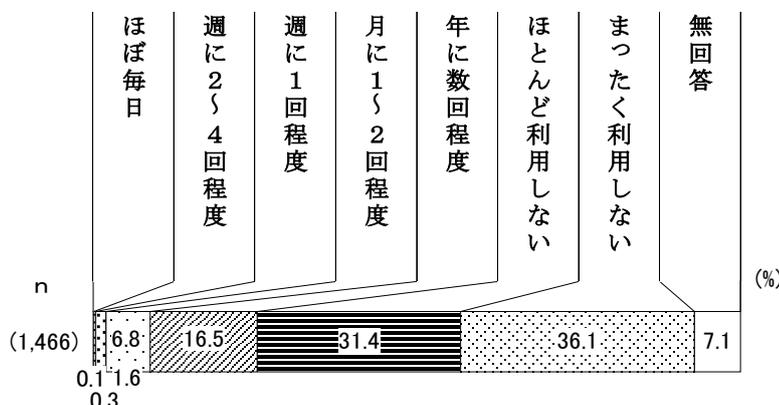
「広報よこはま神奈川区版」を読んでいない理由は、「広報よこはま神奈川区版の存在を知らなかった」が5割台後半と最も高くなっています。次いで「区役所や地域の情報に関心がない」が18.6%で続いています。



(5) 神奈川区ホームページの利用頻度

問22 神奈川区ホームページをどのくらい利用していますか。(〇は1つ)

神奈川区ホームページの利用頻度は、「まったく利用しない」、「ほとんど利用しない」を合わせた<利用しない>が6割台後半となっています。利用する人の中では「年に数回程度」が16.5%と高く、「ほぼ毎日」から「年に数回程度」を合わせた<利用する>は2割台半ばとなっています。



商店街・「わが町 かながわ とっておき」について

(1) 個人商店や商店街の利用頻度

問23 あなたは個人商店や商店街をどの程度利用していますか。(〇は1つ)

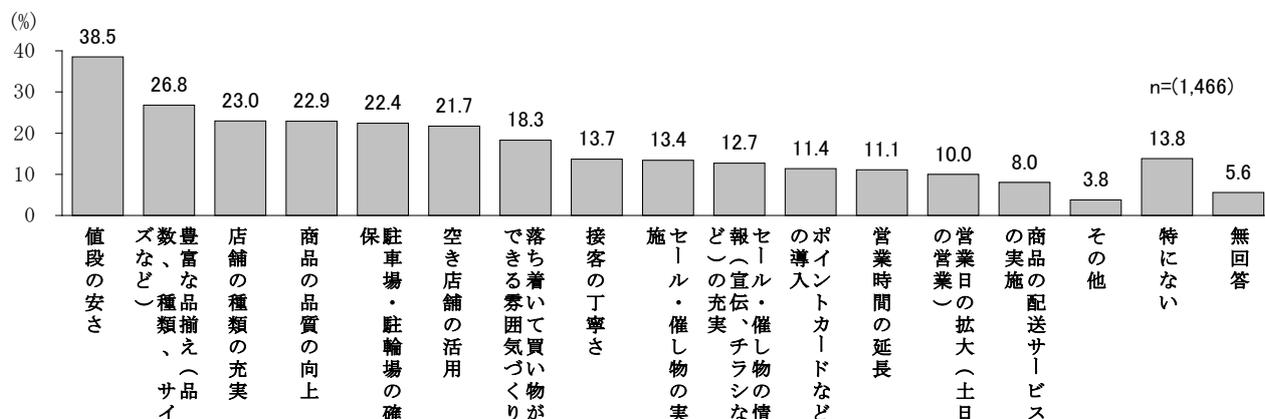
個人商店や商店街の利用については、「週に1日程度利用している」、「月に1日程度利用している」、「週に2〜3日利用している」の順に高く、「ほぼ毎日利用している」から「月に1日程度利用している」を合わせた<利用している>は6割台前半となっています。一方、「個人商店や商店街はほとんど利用していない」が3割台半ばとなっています。



(2) 商店街に対して希望すること

問24 あなたが商店街に対して希望することは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

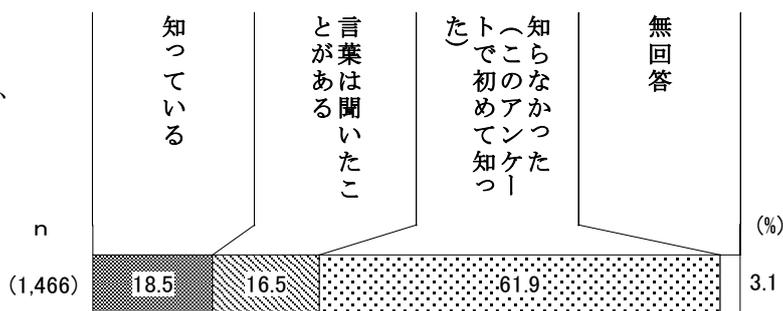
商店街に対して希望することは、「値段の安さ」が3割台後半と最も高く、次いで「豊富な品揃え(品数、種類、サイズなど)」、「店舗の種類充実」、「商品の品質の向上」、「駐車場・駐輪場の確保」、「空き店舗の活用」と続いています。



(3) 「わが町 かながわ とっておき」活用事業の認知度

問25 区役所では、区内の魅力あるスポットを情報発信する取組として、「わが町 かながわ とっておき」活用事業を行っています。この取組について知っていますか。(〇は1つ)

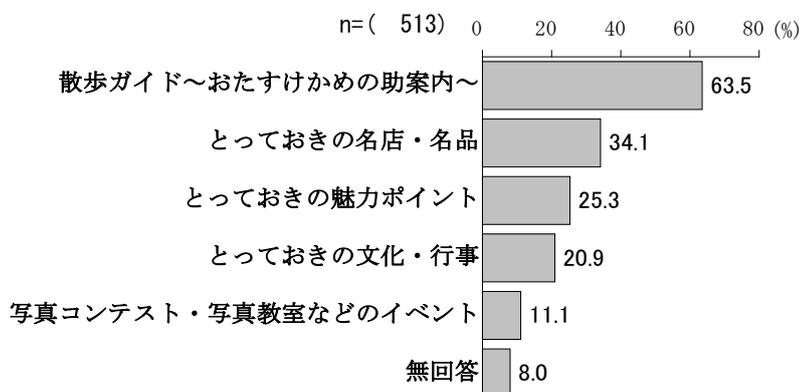
「わが町 かながわ とっておき」活用事業については、「知っている」18.5%、「言葉は聞いたことがある」16.5%となっています。一方、「知らなかった(このアンケートで初めて知った)」は6割台前半と高くなっています。



(4) 「わが町 かながわ とっておき」のうち、知っているもの

問26 問25で「1 知っている」「2 言葉は聞いたことがある」と答えた方におたずねします。「わが町 かながわ とっておき」のうち、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

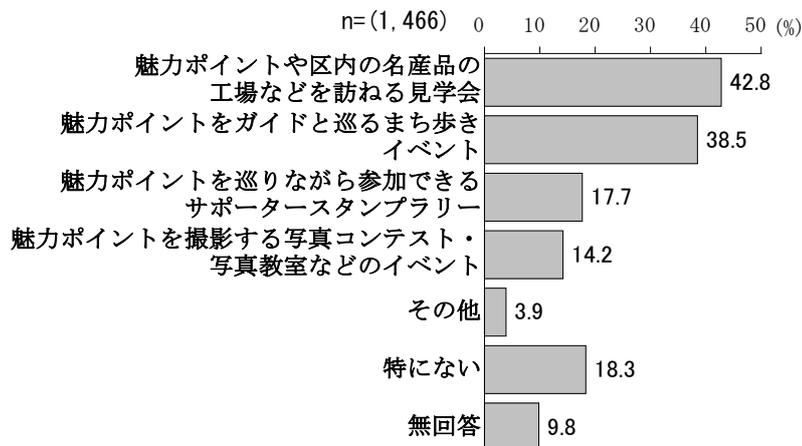
「わが町 かながわ とっておき」活用事業で知っているものは、「散歩ガイド～おたすけかめの助案内～」が6割台前半と最も高く、次いで「とっておきの名店・名品」が3割台前半、「とっておきの魅力ポイント」が2割台半ば、「とっておきの文化・行事」が約2割で続いています。



(5) 区の魅力を発信・アピールするために望ましい取組

問27 区の魅力を発信・アピールするために、どのような取組が望ましいと思いますか。(〇はいくつでも)

区の魅力を発信・アピールするために望ましい取組は、「魅力ポイントや区内の名産品の工場などを訪ねる見学会」と「魅力ポイントをガイドと巡るまち歩きイベント」が4割前後と高くなっています。

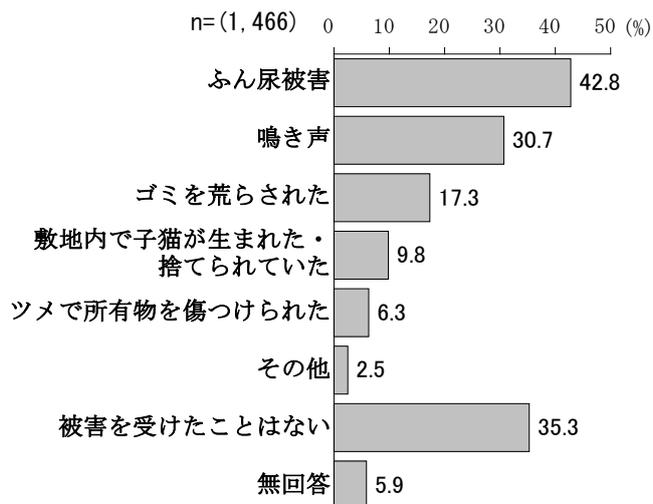


猫の飼育管理などについて

(1) 猫による被害の有無

問28 あなたは猫による被害を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

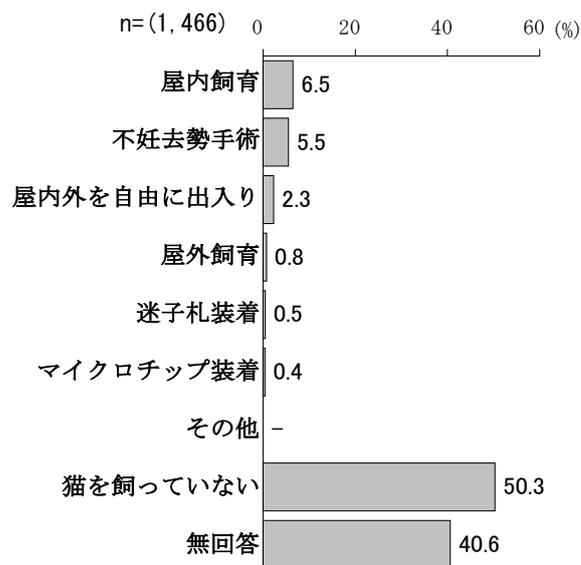
猫による被害は、「ふん尿被害」が4割前半で最も高く、次いで「鳴き声」が約3割、「ゴミを荒らされた」が1割台後半と続いています。一方、「被害を受けたことはない」は3割台半ばとなっています。



(2) 飼い猫の飼育状況

問29 飼い猫の飼育状況についておたずねします。猫を飼っている方は、どのように飼育していますか。(〇はいくつでも)

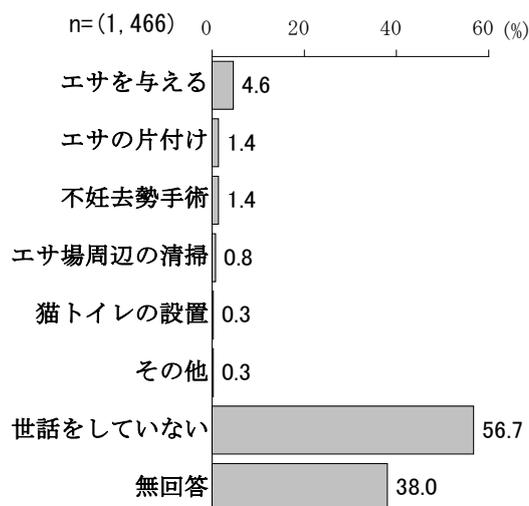
飼い猫の飼育状況は、「猫を飼っていない」が約5割を占めていますが、飼っている人では「屋内飼育」6.5%、「不妊去勢手術」5.5%となっています。



(3) 飼い主のいない猫（ノラ猫）の世話の状況

問30 飼い主のいない猫（ノラ猫）の世話についておたずねします。猫（ノラ猫）の世話をしている方は、どのように世話をしていますか。（○はいくつでも）

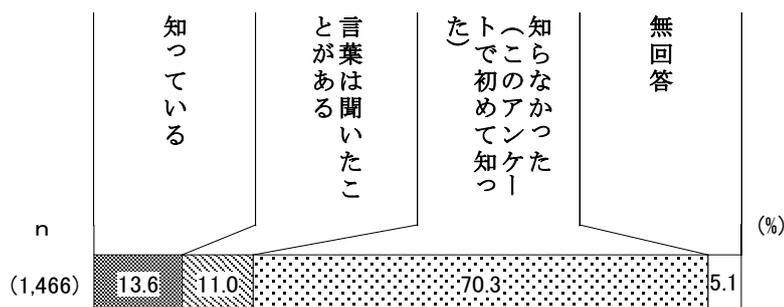
猫（ノラ猫）の世話については、「世話をしていない」が5割台後半を占めていますが、世話をしている人では、「エサを与える」4.6%、「エサの片付け」と「不妊去勢手術」が1.4%となっています。



(4) 「地域猫」の認知度

問31 あなたは「地域猫」を知っていますか。（○は1つ）

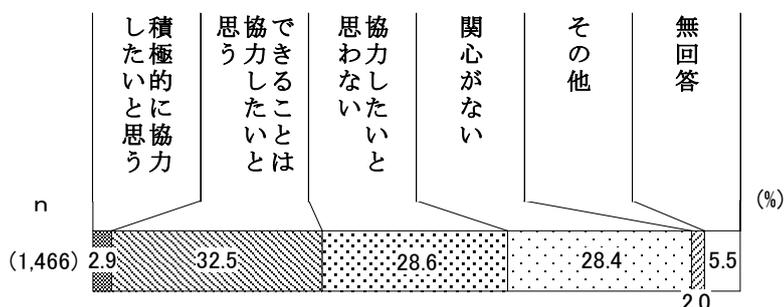
「地域猫」の認知度は、「知っている」が13.6%、「言葉は聞いたことがある」が11.0%となっています。一方、「知らなかった（このアンケートで初めて知った）」が約7割と高く、「地域猫」の認知度は低いことが分かります。



(5) 「地域猫」への取組に協力するか

問32 あなたは、お住まいの地域で「地域猫」への取組に協力したいと思いますか。（○は1つ）

「地域猫」への取組についての協力意向は、「できることは協力したいと思います」が3割台前半、「協力したいと思わない」と「関心がない」は2割台後半となっています。

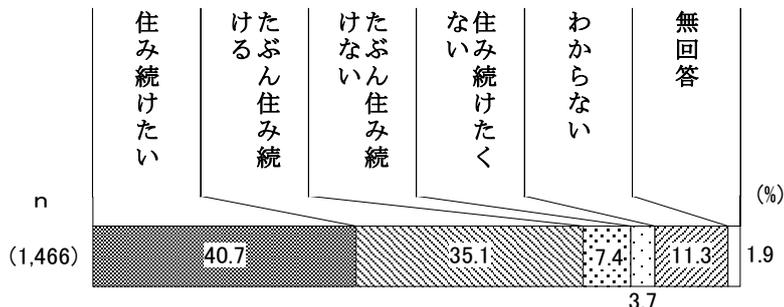


定住意向について

(1) 在住地域の定住意向

問33 あなたは、現在お住まいの地域（あるいは周辺の地域）に住み続けたいですか。（○は1つ）

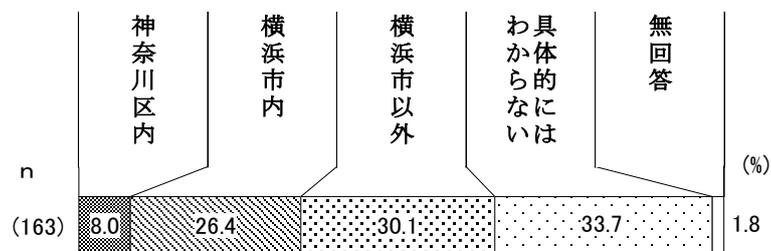
在住地域の定住意向は、「住み続けたい」と「たぶん住み続ける」を合わせた<住み続ける>は7割台半ばとなっています。一方、「たぶん住み続けない」、「住み続けたくない」を合わせた<住み続けない>は11.1%、「わからない」は11.3%となっています。



(2) 定住意向のない人が希望する移転先

問34 問33で「3 たぶん住み続けない」「4 住み続けたくない」と答えた方におたずねします。移転先としては、神奈川区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。（○は1つ）

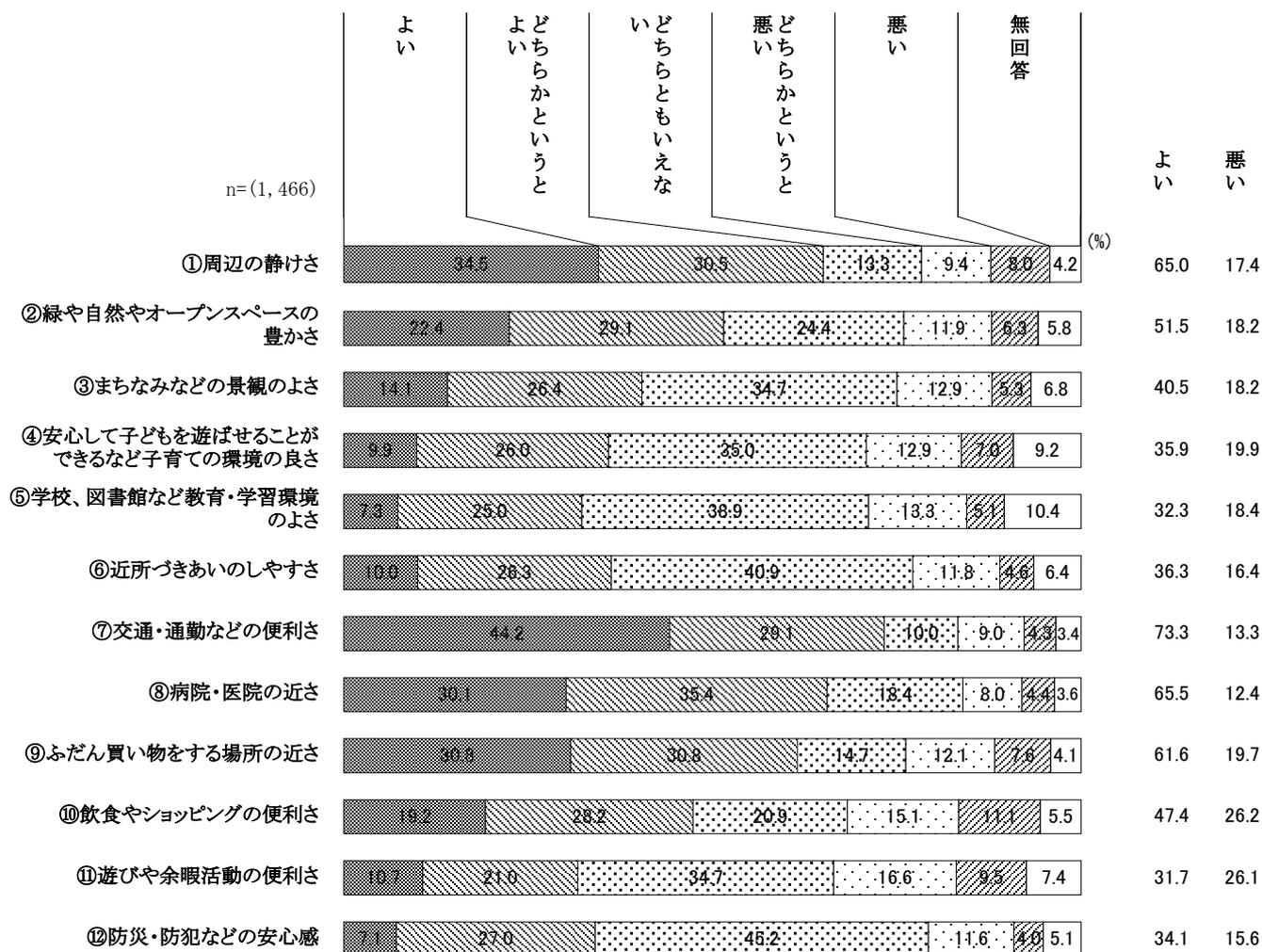
「たぶん住み続けない」、「住み続けたくない」と回答した人が希望する移転先は、「横浜市以外」が約3割、「横浜市内」が2割台後半、「神奈川区内」が8.0%となっています。一方、「具体的にはわからない」が3割台前半となっています。



(3) 現在の住まいの環境について

問35 あなたは、現在のお住まいの環境に関する次の項目について、どのように感じていますか。それぞれの項目について「よい」(暮らしやすい)から「悪い」(暮らしにくい)までの該当する欄の番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

現在の住まいの環境について、「よい」と「どちらかというといよい」を合わせた<よい>は『交通・通勤などの便利さ』が73.3%で最も高く、次いで『病院・医院の近さ』65.5%、『周辺の静けさ』65.0%、『ふだん買い物をする場所の近さ』61.6%となっています。「悪い」と「どちらかというとい悪い」を合わせた<悪い>は『飲食やショッピングの便利さ』が26.2%と最も高く、『遊びや余暇活動の便利さ』26.1%となっています。



平成24年度 神奈川区 区民意識調査報告書 概要版 平成24年10月

横浜市神奈川区役所 区政推進課

〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町3-8 TEL 045-411-7027 (直通)

FAX 045-314-8890

神奈川区ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/>